牡牛座　レーニンの肖像（2001）

TELETS
TAURUS

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ロシア／日本
色彩 Color
時間 94分
初公開日 2008/02/02
公開情報 パンドラ

【キャッチコピー】
「太陽」のＡ・ソクーロフ監督が描く
最も美しく謎めいた孤独
最後の巨大な星が落ちていく――

【解説】
ロシアを代表する映像作家アレクサンドル・ソクーロフ監督が歴史上の人物を描く全４部作のうちの１本で、第１作ヒトラーの「モレク神」と第３作昭和天皇ヒロヒトの「太陽」の間につくられたシリーズ第２弾。歴史上初の社会主義政権を樹立したロシアの指導者レーニンにスポットを当て、病に倒れ志半ばで権力の座を手放した男の孤独な晩年の１日を静謐に綴る。
1922年、モスクワ郊外のゴールキ村。1918年の暗殺未遂事件の際の被弾が原因で、以降たびたび発作に見舞われ、健康を悪化させていったレーニン。右半身は麻痺し、まだらボケも進行し、この地で長らく療養を続けている彼のかたわらには、もはや妻と妹のただ２人しかいなかった。いまや権力はスターリンが掌握し、レーニンの療養生活は、一方でスターリンの厳しい監視下に置かれた軟禁生活となっていた。

【クレジット】

監督	アレクサンドル・ソクーロフ	Aleksandr Sokurov	
製作	ヴィクトール・セルゲーエフ	Viktor Sergeyev	
	才谷遼		
製作総指揮	ウラジミール・ペルソフ	Vladimir Persov	
脚本	ユーリー・アラボフ	Yuri Arabov	
撮影	アレクサンドル・ソクーロフ	Aleksandr Sokurov	
美術監督	ナターリヤ・コチェルギーナ	Natalya Kochergina	
音楽	アンドレイ・シグレ	Andrey Sigle	
出演	レオニード・モズゴヴォイ	Leonid Mozgovoy	病人（レーニン）
	マリヤ・クズネツォーワ	Mariya Kuznetsova	病人の妻（クルプスカヤ）
	ナターリヤ・ニクレンコ	Natalya Nikulenko	マリーヤ（レーニンの妹）
	レフ・エリセーエフ	Lev Yeliseyev	医師
	セルゲイ・ラジューク	Sergei Razhuk	客人（スターリン）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.